

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第72号（通巻第139号）

---

2008年9月30日  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL：055-220-8325， FAX：055-220-8790  
E-mail：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL：http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

### ■ 後期ボランティアガイダンスの御案内

ボランティアの受け入れ先より、梨大生が熱心に教育ボランティアに取り組んでいるとのうれしい声が大学に届いています。

さて、後期も下記のとおりガイダンスを実施いたします。多くの学生の皆さんの御参加をお待ちしています。

日時 10月15日（水）12：10～13：00  
場所 M-12教室

### ■ 「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口はいつて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

### ■ 「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

教育相談に教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品を貸し出します。借りる際には使用ノートにご記入をお願いします。

### ■ 特別支援教育基礎研修のご報告

今年度の特別支援教育基礎研修を本学教育人間科学部附属特別支援学校との共催で8月8日（金）午前中に開催しました。国立病院機構甲府病院小児科の中村幸介氏を講師にお招きし、「発達障害の診断と治療への序章」について、実演やユーモアを交えつつご講演いただきました。教員を中心に136名の参加があり、特別支援教育を実践していく上での子ども理解に欠かせない多くの視点を学ぶことが出来ました。受講生からは、「とてもわかりやすい講演でした。お陰様で発達障害の区分けが自分の中ですっきりしました。」「発達障害の診断と治療について教育の立場に立っての講演で驚きました。」など多くの感想を寄せていただきました。具体的かつ切実な質問も多く、発達障害についての学びの大切さが窺われた研修となりました。



## ■ 平成20年度第2回期間採用者等研修のご報告

今年度2回目の期間採用者等研修を8月1日（金）に開きました。講師には、現在、指導的立場でご活躍中の小・中・高・特別支援学校の先生方や元管理職の先生方11名をお迎えし、校種別に教科や生徒指導等に関して1日研修を実施しました。当日は期間採用や非常勤等をされている先生方73名が参加されました。



アンケート結果からみますと、この研修会で、延べ157人中154人の方が参考になったと回答されましたように、大変充実した研修会となりました。また、参加者からは「今回の話を聞き、新しい発見があり、新たな気持ちで二学期に臨めそうです」「他の先生方とも情報交換ができて良かった」「同じようなことで悩んでいる人がいることが分かって安心した」「どうして今までこのような研修に参加しなかつたんだろうと後悔しています。とても役に立ちました」等の感想が寄せられました。なお、3回目を12月6日（土）に予定しております。

## ■ 平成20年度若手教員研修のご報告

今年度の若手教員研修は8月8日（金）午後、本学附属教育実践総合センター教育臨床部門担当の谷口明子教授の「学校現場におけるカウンセリングマインド」を基調講演とし、小学校教育、中学校教育、高等学校教育、特別支援教育の分科会ごと、4名の現職教員をグループアドバイザーとして研修を深めました。当日は基調講演、分科会を含めて31名の若手教員が参加しました。



アンケート結果をみますと、講演会では「参考になった」と回答した参加者が、25人中25人、グループディスカッションでは「参考になった」と回答した参加者が、23人中22人ありました。いずれも実りある研修会となったことが伺えました。

参加者からは「講演会では、新しい気づきが得られました。参考にしていきたいと思います。」「分科会では、講師の先生の教師力・人間力を感じました。教師は、人間としての魅力を痛感いたしました」「実践的な指導案は役立つと思います」「具体的な課題をもって集まってくる先生が多かった」等の感想が寄せられました。

## ■ 夏季休業中の教員研修等協力について

教育実践総合センターは、期間採用者等研修、若手教員研修会、特別支援教育基礎研修、教育臨床研究会等のセンター主催の教員研修を開催しておりますが、当センター主催以外の以下の研修にも協力しました。

- 7月31日 山梨県総合教育センター教員研修 高等学校数学科の授業改善研修会において講演。演題：情報社会における統計教育のあり方。参加者：12名（成田）。
- 8月3日 山梨県教育職員免許法認定講習（特別支援学校教員講習）『病弱教育総論』参加者66名（谷口）。
- 8月7日 松下教育研究財団第33回実践研究助成成果発表会において主に中学校におけるメディアを活用した教育実践研究に関して指導助言。ホテルラングウッド（東京都荒川区）にて（成田）。
- 8月12日 山梨県総合教育センター情報モラル研修会。演題：「情報モラル」の指導の在り方について。参加者：県内小・中・高等学校教諭36名（成田）。附属支援学校主催 地域支援研修会手伝い（谷口）。
- 8月18日 山梨県総合教育センター教員研修 高校情報研修会（画像処理技術の利活用）において指導助言。参加者：情報科担当高等学校教員等13名（成田）。
- 8月19日～21日 学校図書館司書教諭講習「学校図書館メディアの構成」。参加者：36名（成田・角田）。
- 9月12日 東京都立北特別支援学校病院訪問部研究会 指導助言『病院訪問学級での心理的安定のための支援について』参加者：11名（谷口）。
- 9月18日 東京都立北特別支援学校病院訪問部 実践助言 参加者：6名（谷口）。
- 9月19日 東京都立北特別支援学校東大病院内こだま分教室 校内研究論文指導助言（谷口）。